

Section 01

価値創造ストーリー

- 11 さくらインターネットのあゆみ
- 12 価値創造プロセス
- 13 長期ビジョン

- 14 事業領域
- 15 当社の強み
- 16 グループ会社・さくらインターネット研究所

さくらインターネットのあゆみ

さくらインターネットは、1996年の創業以来、インターネットが持つ可能性を信じ、周囲の人の「やりたいこと」を「できる」に変えながら、仲間を増やし、成長してきました。これからも、変化を恐れず挑戦を続けながら、日本のデジタル基盤を支える存在として、一步一步着実に未来へと進んでまいります。

売上高と従業員数

■ クラウドサービス ■ GPUインフラストラクチャーサービス ■ 物理基盤サービス ■ その他サービス — 従業員数



- 1996** ・「さくらインターネット」を創業
・「さくらウェブ」の提供を開始
- 1997** ・専用サーバーサービスを開始
- 1999** ・「さくらインターネット株式会社」を設立
- 2000** ・「エス・アール・エス株式会社」、
「有限会社インフォレスト」と合併
・商号を「エスアールエス・さくらインターネット」へと変更
- 2004** ・堂島DC、東新宿DCを開設
・商号を「さくらインターネット株式会社」へと変更
・「さくらのレンタルサーバ」の提供を開始
- 2005** ・東証マザーズ市場に上場
- 2006** ・東新宿DC、堂島DCのハウジングサービス運用業務において、ISMS認証基準を取得
・西新宿DC、代官山DCを開設
・プライバシーマークを取得

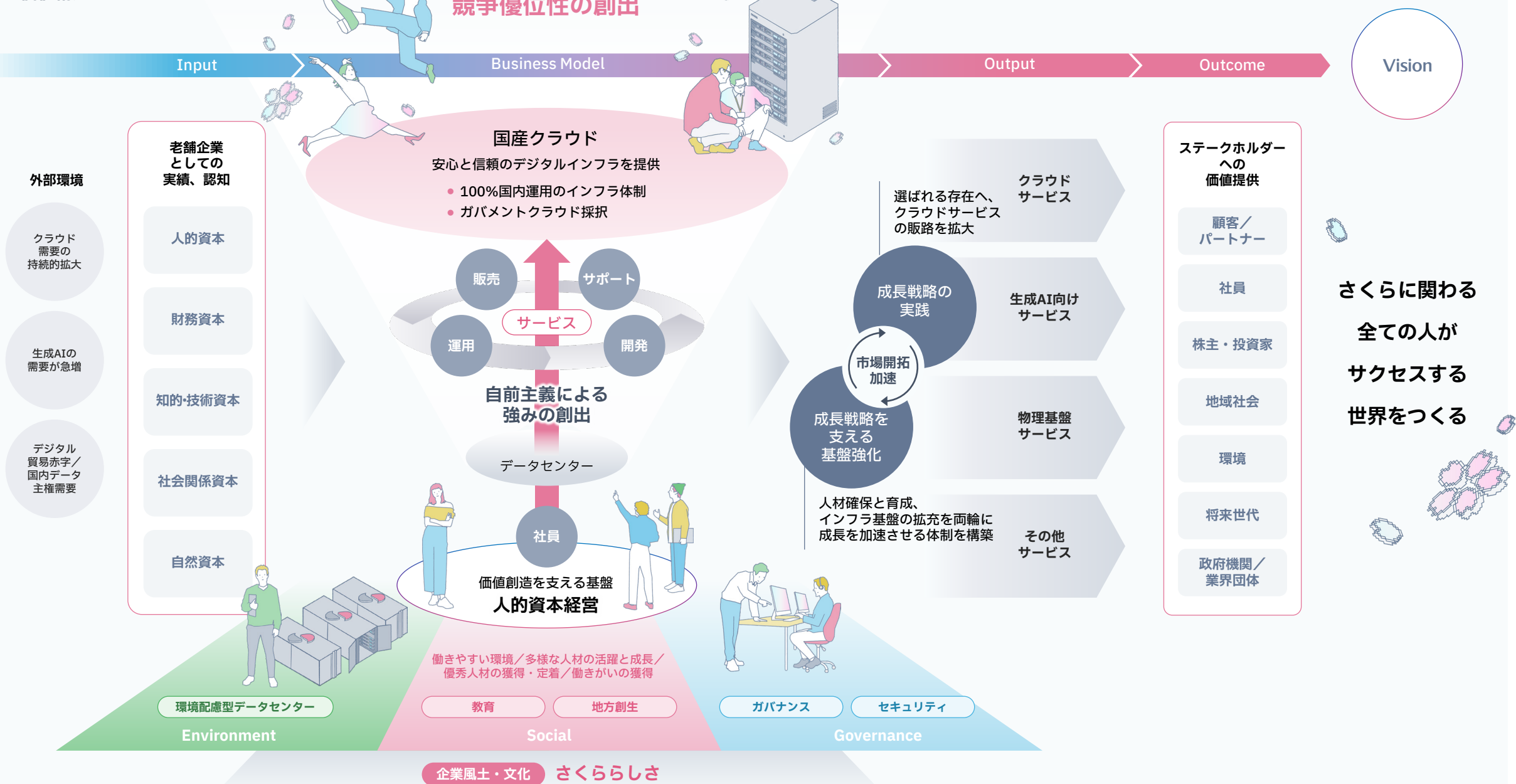
- 2009** ・全事業所およびデータセンターにおいて
ISO27001 / ISMSの認証拡大
・「さくらインターネット研究所」を設立
- 2010** ・「さくらのVPS」の提供を開始
- 2011** ・石狩DCを開設
・「さくらのクラウド」の提供を開始
- 2012** ・「さくらの専用サーバ」の提供を開始
- 2015** ・「株式会社Joe'sクラウドコンピューティング(2019年4月
ビットスター株式会社に吸収合併)」を子会社化
・東証第一部に市場変更
- 2016** ・「ゲヒルン株式会社」を子会社化
・関連会社「株式会社S2i(2023年11月清算終了)」、
子会社「櫻花移動電信有限公司」を設立
・「さくらの専用サーバ 高火力シリーズ」の提供を開始
- 2017** ・「エヌシーアイ株式会社(同年5月 アイティー エム株式会社に
商号変更)」
・「ビットスター株式会社」を子会社化
・福岡オフィスを開所
・「sakura.io」の提供を開始
- 2018** ・子会社「プラナスソリューションズ株式会社」を設立
・「IzumoBASE株式会社」を子会社化
・「さくらのクラウド」にて
「ISMSクラウドセキュリティ認証」を取得

- 2019** ・データセンターのバックボーンネットワークを強化し、
対外接続1Tbps突破
・合併会社「BBSakura Networks株式会社」を設立
- 2020** ・「さくらの専用サーバPHY(ファイ)」の提供を開始
- 2021** ・「さくらのクラウド」がISMAPに登録
・子会社「株式会社Tellus」を設立
・本社を大阪府大阪市北区梅田に移転
- 2022** ・東証プライム市場に市場移行
- 2023** ・「SAKURA innobase Okinawa」を開所
・ガバメントクラウドサービス提供事業者に選定

- 2024** ・「高火力PHY(ファイ)」 「高火力DOK(ドック)」の提供を開始
・本社を大阪府大阪市北区大深町(グラングリーン大阪)に移転
・「さくらのパートナーネットワーク」「さくらのレンタルサーバ取次店制度」を開始
・「さくらのクラウド検定」を設立
- 2025** ・「高火力VRT(パート)」 「さくらのAI」「さくらONE」の提供を開始
・石狩DC敷地内にてコンテナ型データセンターの稼働を開始
- 2026** ・ガバメントクラウドサービス提供事業者に採択
・「さくらのAI検定」を設立
※2026年7月31日までの情報となります

さくらインターネットは
2026年12月で30周年を迎えます

価値創造プロセス



デジタルインフラトップ企業になる

長期的な展望

官・民のデジタル化を支えるインフラとして、社会や産業のデジタル化を促進。
メガクラウドに代わる選択肢に。



デジタル社会を支えるインフラへ

デジタル前提の社会に境界線はありません。

私たちは社会に不可欠なデジタルインフラとして、人や企業、地域の挑戦を支え、
その発展に貢献していきます。

国産ならではの
信頼を
あらゆる領域へ

技術・ノウハウ

多様な人材

垂直統合・自前主義

老舗企業としての実績

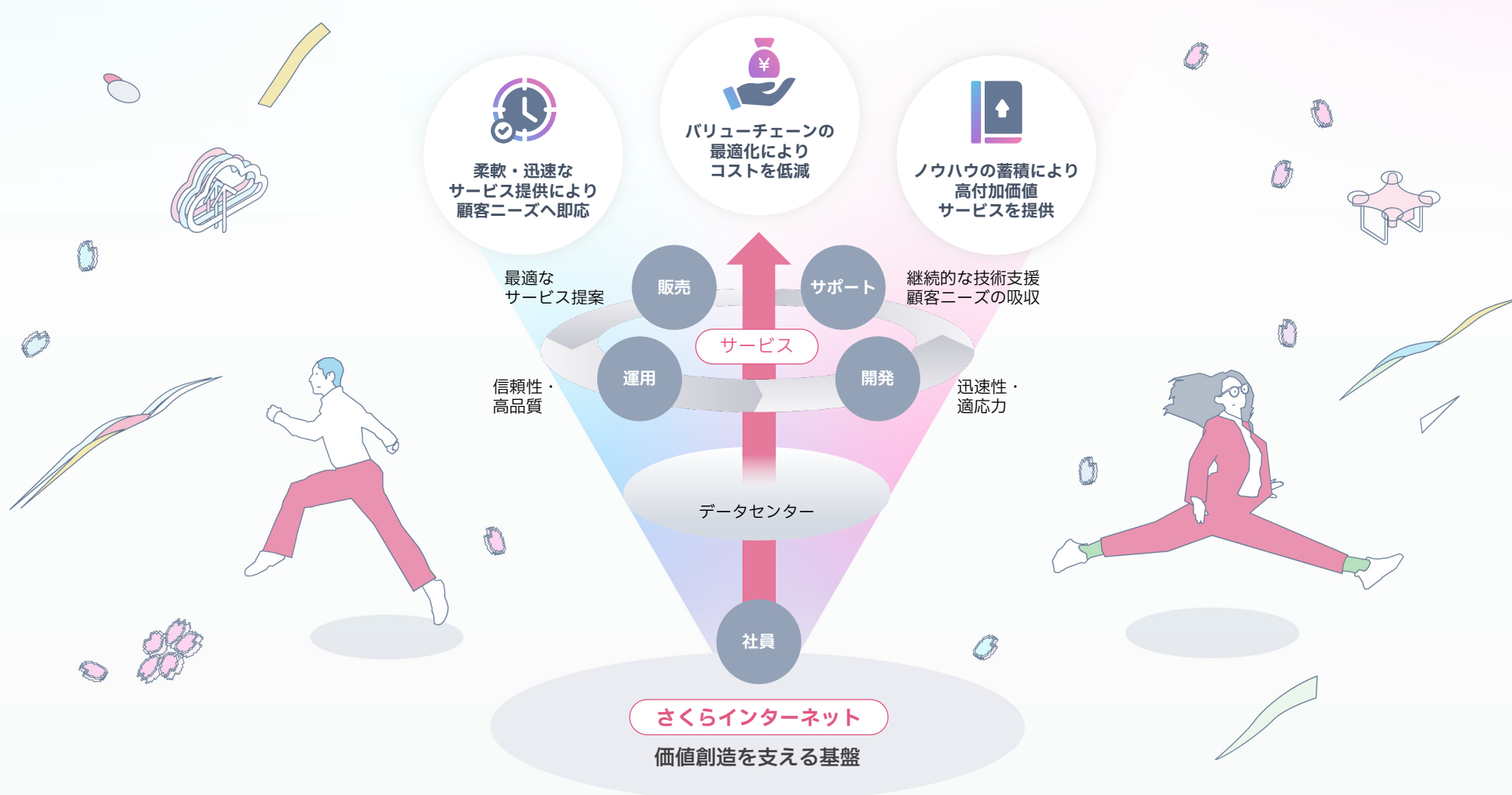
SAKURA internet

当社の強み

国内完結型の高付加価値サービスを提供

さくらインターネットは、データセンターの所有からサービスの開発や技術研究・運用・販売・サポートに至るまでを自社一貫で担う、垂直統合型・自前主義のビジネスモデルを築いてきました。

競争優位性の創出



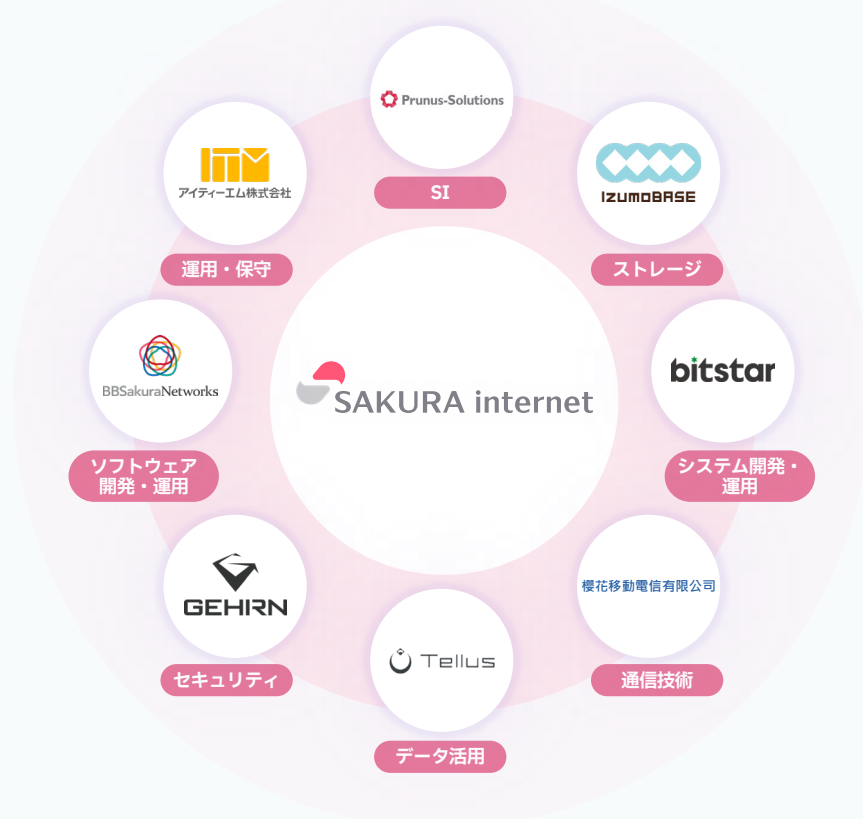
グループ会社・さくらインターネット研究所（2026年7月31日現在）

社会の変化とお客さまの期待に応える、多様な専門性を結集しています

専門領域を担うグループ各社の豊富な知見で、お客さまのさまざまなニーズに応えています。また、さくらインターネット研究所における研究開発から、次世代のデジタル社会の可能性を広げていきます。

グループ会社

さくらインターネットグループは、専門領域を持つ各社が結集し、お客さまの「やりたいこと」を確かな技術と運用で支えています。



さくらインターネット研究所

最先端のインターネット技術を探求し、
新たな価値創出と中長期的な競争力の強化を推進しています。

さくらインターネット研究所は、3～5年後を見据えた最先端技術を研究するコーポレートラボです。「未来の選択肢を増やし、やりたいことをできるに変える」を掲げ、日本の産業を支える大規模AIインフラやHPC、AI4サイエンス、フィジカルAI・ロボティクスなどの領域を推進しています。大学や外部機関との共同研究も盛んで、研究員が自由に挑戦できるオープンな環境から、社会や企業に貢献する先進的な成果を発信しています。

2026年6月、マネージドスーパーコンピュータ「さくらONE」、
AI・HPC基盤の実行性能を評価する「HPCG」で世界22位を獲得



「さくらONE」は、さくらインターネット研究所と、さくらインターネットのグループ会社であるプラスソリューションズ株式会社と共同で構築し、2025年9月より、企業のAI開発や研究開発を支援する商用サービス（マネージドHPCクラウドサービス）として提供を開始しています。

2026年6月の国際会議「ISC2026」において、メモリアクセスや通信性能を含む実アプリケーションに即した性能を評価するランキング「HPCG」で世界22位を獲得しました。また、国際的なスーパーコンピュータの処理性能ランキングである「TOP500」※で世界63位を記録しました。

本取組みで得た知見を国内外へ発信し、業界の技術向上にも貢献しています。今後も次世代GPUの継続調達と高付加価値インフラの提供を通じて先端技術の研究開発を支援し、中長期的な企業価値の向上と社会の発展に寄与していきます。

※「TOP500」は、スーパーコンピュータの処理性能を評価する世界的なランキング。ドイツのハンブルクで開催中のHPCに関する国際会議・展示会「ISC2026」において最新ランキングが発表

➡ ISC 公式サイト